改正後		備考
## 定 平成 19 年 8 月 31 日 ## 第 462 号 改 正 平成 20 年 7 月 11 日 ## 第 466 号 改 正 平成 22 年 7 月 9 日 農整第 453 号 改 正 平成 23 年 7 月 15 日 農整第 15 号 改 正 平成 28 年 7 月 13 日 農整第 15 号 改 正 平成 28 年 7 月 13 日 農整第 266 号 改 正 平成 28 年 7 月 10 日 農整第 243 号 改 正 令和 元年 8 月 22 日 農整第 305 号 改 正 令和 3 年 8 月 3 日 農整第 305 号 改 正 令和 3 年 8 月 13 日 農整第 305 号 改 正 令和 4 年 8 月 12 日 農整第 284 号 改 正 令和 4 年 8 月 12 日 農整第 305 号 改 正 令和 4 年 8 月 13 日 農整第 305 号 改 正 令和 4 年 8 月 13 日 農整第 305 号 改 正 令和 4 年 8 月 13 日 農整第 305 号 改 正 令和 5 年 8 月 25 日 農整第 302 号 改 正 令和 6 年 8 月 13 日 農整第 302 号 改 正 令和 7 年 8 月 6 日	制 定 平成19年8月31日 耕 第 462号 改 正 平成20年7月11日 耕 第 466号 改 正 平成22年7月 9日 農整第 453号 改 正 平成23年7月15日 農整第 366号 改 正 平成28年7月13日 農整第 15号 改 正 平成29年7月10日 農整第 243号 改 正 令和元年8月22日 農整第 296号 改 正 令和 2年8月3日 農整第 305号 改 正 令和 3年8月3日 農整第 305号 改 正 令和 4年8月12日 農整第 284号 改 正 令和 4年8月12日 農整第 285号 改 正 令和 5年8月13日 農整第 285号 改 正 令和 6年8月13日 農整第 287号	
令和 <u>了</u> 年8月 富山県農林水産部	令和 <u>6</u> 年 <u>8</u> 月 富山県農林水産部	

改正後	現行	備考
第1章 総 則	第1章 総 則	
第1節 総 則	第1節 総 則	
1-1-1 ~ 1-1-4 【略】	1-1-1 ~ 1-1-4 【略】	
1-1-5 ワンデーレスポンス 監督員及び受注者は、「ワンデーレスポンス」に努める。 ワンデーレスポンスとは、受注者からの質問・協議等に対して、1日あるいは適切な期限までに回答することをいう。1日で対応が困難な場合などは、いつまでに対応するかを連絡するなど、速やかに何らかの対応をすることをいう。	【新設】	新規追記
1-1-6 ~ 1-1-16 【略】	1-1-5 ~ 1-1-15 【略】	
1-1-17 施工体制台帳及び施工体系図 1. ~4. [略] 5. 下請負人の社会保険等加入の有無に関する対応 下請負者が社会保険等未加入建設業者の場合には、建設業担当部局による社会保険等の加入に係る指導等が行われるため、受注者及び当該下請負者は、適正に対応しなければならない。	1-1-16 施工体制台帳及び施工体系図 1. ~4. [略] 【新設】	新規追記
6. [略] 1-1-18 ~ 1-1-20 【略】	5. 略 1-1- <mark>17 ~ 1-1-19 【略】</mark>	
1-1-21 工事の一時中止	 1-1- <mark>20</mark> 工事の一時中止	
一般事項 発注者は、契約書第20条の規定に基づき次の各号に該当する場合においては、あらかじめ受注者に対して通知した上で、必要とする規制、工事の全部又は一部の施工について一時中止をさせることができる。 なお寡風、豪雨、洪水、高朝、地震、津波、地すべり、落盤、火災、騒乱、暴動その他自然的又は人為的な事象による工事の中断については、第1章1-1-54により、受注者は、適切に対応しなければならない。 (1) ~ (3)	1. 一般事項 発注者は、契約書第20条の規定に基づき次の各号に該当する場合においては、あらかじめ受注者に対して通 知した上で、必要とする期間、工事の全部又は一部の施工について一時中止をさせることができる。 なお暴風、豪雨、洪水、高朝、地震、津波、地すべり、落盤、火災、騒乱、暴動その他自然的又は人為的な事 象による工事の中断については、第1章1-1-53により、受注者は、適切に対応しなければならない。 (1) ~ (3) [略] 2. ~3. [略]	字句修正
1-1-22 ~ 1-1-25 【略】	1-1-21 ~ 1-1-24 【略】	
 1-1-26 建設副産物 2. 【略】 マニフェスト 受注者は、工場制作工に係るものを除く産業廃棄物が搬出される工事にあたっては、廃棄物管理票(紙マニフェスト)又は電子マニフェストにより、適正に処理されていることを確かめるとともに監督員に提示しなければならない。 4. ~6. [略] 	1-1-25 建設副産物 1. ~2. 【略】 3. マニュフェスト 受注者は、工場制作工に係るものを除く産業廃棄物が搬出される工事にあたっては、建設発生土は搬出帳票、 産業廃棄物は廃棄物管理票(紙マニュフェスト)又は電子マニュフェストにより、適正に処理されていることを確かめるとともに監督員に提示しなければならない。 4. ~6. 【略】	字句修正
7. 再生資源利用促進計画 受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、又は建設発生木材、建設汚泥又は 建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計 画書にその写しを添付して監督員に提出しなければならない。 また、受注者は、法令等に基づき、工事現場において再生資源利用促進計画を公衆の見えやすい場所に掲げな	7. 再生資源利用促進計画 受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、又は建設発生木材、建設汚泥又は建設発合廃棄物を工事現場から搬出する場合には、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書にその写しを添付して監督員に提出しなければならない。また、受注者は、法令等に基づき、工事現場において再生資源利用促進計画を公衆の見えやすい場所に掲げな	字句修正

改正後	現行	備考
ければならない。 8. ~12. [略]	ければならない。 8. ~12. [略]	
1-1-27 ~ 1-1-31 【略】	1-1-26 ~ 1-1-30 【略】	
1-1- 32 工事完成検査	1-1-31 工事完成検査	
 ~6. 「昭 適用規定 受注者は、当該工事完成検査については、第1編第1章1-1-27第3項の規定を準用する。 	1. ~6. [略] 7. 適用規定 受注者は、当該工事完成検査については、第1編第1章1-1- <mark>26</mark> 第3項の規定を準用する。	字句修正
1-1-33 既済部分検査等	1-1- 32 既済部分検査等	
 ~4. [略] 適用規定 受注者は、既済部分検査については、第1編第1章1-1-27第3項の規定を準用する。 ~7. [略] 	1. ~4. [略] 5. 適用規定 受注者は、既辞的検査については、第1編第1章1-1-26第3項の規定を準用する。 6. ~7. [略]	字句修正
1 — 1 — 34 【略】	1-1-33 【略】	
1. ~2. 【略】 1. ~2. 【略】 3. 標示板の設置 受主者は、施工に先立ち工事現場又はその周辺の一般通行人等が見えやすい場所に、工事目的、工事期間、工事種別、受主者名、施工者名及び連絡先を記載した標示板を設置し、工事完成後は速やかに標示板を撤去しなければならない。ただし、標示板の設置が困難な場合は、監督員の承諾を得て省略することができる。 なお、木製の標示板については、本章1-1-43環境対策10に示す合法状採木材等を使用すること。ただし、監督職員がやむを得ない理由があると認めた場合は、この限りではない。 4. ~13. [略] 1-1-36 履行報告	1-1-34 施工管理 1. ~2. 【略】 3. 標示板の設置 受注者は、施工に先立ち工事現場又はその周辺の一般通行人等が見えやすい場所に、工事目的、工事期間、工事種別、受注者名、施工者名、連絡先、工事内容等を記載した標示板を設置し、工事完成後は速やかに標示板を撤去しなければならない。ただし、標示板の設置が困難な場合は、監督員の承諾を得て省略することができる。なお、木製の標示板については、本章1-1-41環境対策10に示す合法 は、監督職員がやむを得ない理由があると認めた場合は、この限りではない。 4. ~13. [略] 1-1-35 履行報告	字句修正
受注者は、契約書第11条の規定に基づき、契約の履行状況について監督員に適宜連絡しなければならない。	受注者は、契約書第11条の規定に基づき、工事履行報告書を監督員に適宜連絡しなければならない。	字句修正
1-1-37 週休二日の対応	【移設】	移設
受注者は、週休二日に取り組み、その実施内容を監督員に報告しなければならない。		
1-1-38 【略】	1-1-36 【略】	
1-1- 39 工事中の安全確保	1-1- <mark>37</mark> 工事中の安全確保	
1. 安全指針等の順守 受注者は、最新の土木工事等施工技術安全指針(20 農振第2236 号平成21 年3月30 日付け農林水産省 農村振興局整備部長名)JIS A 8972(斜面・法面工事用反張設備)を参考にして、常に工事の安全に留意し現 場管理を行い、災害の防止に努めなければならない。ただし、これらの指針は当該工事の契約条項を超えて受注 者を拘束するものではない。 2. ~21. [略]	1. 安全指針等の順守 受注者は、土木工事等施工技術安全指針(20 農原第2236 号平成21 年3月30 日付け農林水産省農村振 興局整備部長名) JIS A 8972(斜面・法面工事用仮設設備)を参考にして、常に工事の安全に留意し現場管理 を行い、災害の防止に努めなければならない。ただし、これらの指針は当該工事の契約条項を超えて受注者を拘 束するものではない。 2. ~21. [略]	字句修正
1-1-40 ~ 1-1-42 【略】	1-1-38 ~ 1-1-40 【略】	
1-1-43 環境対策	1-1-41 環境対策	
1. ~5. 【略】	1. ~5. [略]	

改正後	現行	備考
6. 排出ガス	6. 排出ガス	
(1)受注者は、工事の施工に当たり表1-1-1に示す一般工事用建設機械を使用する場合には、原則として、特	(1)受注者は、工事の施工に当たり表1-1-1に示す一般工事用建設機械を使用する場合には、原則として、特	
定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(平成17年法律第51号)に基づき省令で定められた特定特殊	定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(平成17年法律第51号)に基づき省令で定められた特定特殊	
自動車排出ガスの規制等に関する法律施行規則(平成18年経済産業省・国土交通省・環境省令第1号)第2	自動車排出ガスの規制等に関する法律施行規則(平成18年経済産業省・国土交通省・環境省令第1号)第2	
条及び第11条に規定する技術基準に適合する特定特殊自動車、「排出力ス対策型建設機械指定要領」(平成	条及び第11条に規定する技術基準に適合する特定特殊自動車、「排出ガス対策型建設機械指定要領」(平成	
3年10月8日付け建設省経機発第249号)、「排出力ス対策型建設機械の普及促進に関する規程」(平成	3年10月8日付け建設省経機発第249号)、「排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規定」(平成	字句修正
18年3月17日付け国土交通省告示第348号)若しくは「第3次排出力ス対策型建設機械指定要領」(平	18年3月17日付け国土交通省告示第348号)若しくは「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領」(平	
成18年3月17日付け国総施第215号)に基づき指定された排出ガス対策型建設機械、平成7年度建設技術	成18年3月17日付け国総施第215号)に基づき指定された排出ガス対策型建設機械、平成7年度建設技術	
評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、これと同等の開発目標で実施された民間開発建	評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、これと同等の開発目標で実施された民間開発建	
設技術の技術審査・証明事業、又はこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明事業により評価さ	設技術の技術審査・証明事業、又はこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明事業により評価さ	
れた排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用しなければならない。	れた排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用しなければならない。	
ただし、やむを得ない事情により、これらの機械を使用できない場合には、監督員と協議し、監督員が適	ただし、やむを得ない事情により、これらの機械を使用できない場合には、監督員と協議し、監督員が適	
当と認めるときは、これらの機械以外の機械を使用することができる。	当と認めるときは、これらの機械以外の機械を使用することができる。	
(2) 受注者は、工事の施工に当たり表1-1-2 に示すトンネル工事用建設機械表を使用する場合には、2011	(2) 受注者は、工事の施工に当たり表1-1-2 に示すトンネル工事用建設機械表を使用する場合には、2011	
年以降の排出ガス基準に適合するものとして、特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(平成17年	年以降の排出ガス基準に適合するものとして、特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(平成17年	
法律第51号)に基づき省合で定められた特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律施行規則(平成18	法律第51号)に基づき省令で定められた特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律施行規則(平成18	
年経済産業省・国土交通省・環境省令第1号)第2条及び第11条に規定する技術基準に適合する特定特殊	年経済産業省・国土交通省・環境省合第1号)第2条及び第11条に規定する技術基準に適合する特定特殊	
自動車、「排出力ス対策型建設機械指定要領」(平成3年10月8日付け建設省経機第249号)、「排出力	自動車、「排出力ス対策型建設機械指定要領」(平成3年10月8日付け建設省経機第249号)、「排出力	
ス対策型建設機械の普及促進に関する規程」(平成18年3月17日付け国土交通省告示第348号)若しく	ス対策型建設機械の普及促進に関する規定」(平成18年3月17日付け国土交通省告示第348 号)若しく	字句修正
は「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領」(平成18年3月17日付け国総施第215号)に基づき指	は「第3次排出力ス対策型建設機械指定要領」(平成18年3月17日付け国総施第215号)に基づき指	
は「第3次派山ガス対策型建設機械の配差域」(平成18年3月17日11月21日間が18年2月3日に乗りる相手でいた。	は、第3次が近辺入が東半年が機械。平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の	
たされて存在ガススス全達式機械、平成7年度建設大利時間の受力券(未送り建設機械の存在ガス学化表量の 開発」、これと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、又はこれと同等の開	にといい。 開発」、これと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、又はこれと同等の開	
発目標で実施された建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用し	発目標で実施された建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用し	
なければならない。	なければならない。 ************************************	
ただし、やむを得ない事情により、これらの機械を使用できない場合には、監督員と協議し、監督員が適	ただし、やむを得ない事情により、これらの機械を使用できない場合には、監督員と協議し、監督員が適	
当と認めるときは、これらの機械以外の機械を使用することができる。	当と認めるときは、これらの機械以外の機械を使用することができる。	
表1—1—1 [略]	表1—1—1 [昭]	
表1—1—2 [略]	表1—1—2 [昭]	
7. ~10. [略]	7. ~10. [略]	
-1-44 ~ 1-1-46 【略】	1-1-42 ~ 1-1-44 【略】	
- 1 - <mark>47</mark> 諸法令の遵守	1-1- <mark>45</mark> 諸法令の遵守	
1. 諸法令の順守	1. 諸法令の順守	
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	受注者は、当該工事に関する諸法令を遵守し、工事の円滑な進捗を図るとともに、諸法令	
の適用、運用は受注者の責任において行わなければならない。	の適用、運用は受注者の責任において行わなければならない。	
でが過れ、定用は支圧性の負担においてはカルはカルはあるられた。 なお、主な法令は次に示すとおりであり、最新法令に則るものとする。	なお、主な法令は次に示すとおりであり、最新法令に則るものとする。	
$(1) \sim (62) [\text{MS}]$	(1) ~ (62) 「腎	
(63) 公共工事の入札 <mark>及び</mark> 契約の適正化の促進に関する法律	(63)公共工事の入札および契約の適正化の促進に関する法律	字句修正
(公方/ 五共工事の人代 <mark>以〇</mark> 共和の旭正日の7位進亡署9 公五章 (平成 12 年 法律第 127 号)	(平成 12 年 法律第 127 号)	5 5,511
(64) ~ (85) 「網	(千以 12 千 四章第 12 7 号) (64) ~ (85) 「略]	
(86) 特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律 (平成 17 年法律第 51 号)	(86) 特定特殊自動車排ガスの規制等に関する法律 (平成 17 年法律第 51 号)	
(87) ~ (88) 「昭	(87)~(88) [略]	
() () () () () () () () () ()	(-1)	字句修正
(89) 個人情報の保護に関する法律 (平成 15年 法律第 57号)	(89) 行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律 (平成 15年 法律第 58号)	
(90) ~ (92) [略] (03) エブリゼ の使用の全理ルトスグセルをエブリゼ A のお場合に思えては決 (1750.5.4.5 は決策 40.5.)	(90) ~ (92) [昭] (00) エブルギ の体界の全国化に関する法律 (17750 5.4 年) 生命等 40 円)	
(93) エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律 (昭和54年 法律第49号)	(93) エネルギーの使用の合理化に関する法律 (昭和54年 法律第49号)	

改正後	現行	備考
(94) ~ (95) [昭] 2. ~3. [昭]	(94) ~ (95) [昭 2. ~3. [昭]	
1-1- <mark>48 ~ 1-1-52 【略】</mark>	1-1-46 ~ 1-1-50 [略]	
1-1- 53 特許権等	1 — 1 — 51 特許権等	
1. ~2. 「昭 3. 著作権法に規定される著作物 発注者が、引渡しを受けた契約の目的物が著作権法(昭和45年法律第48号)第2条第1項第1号に規定される 著作物に該当する場合は、当該著作物の著作権は発注者に帰属するものとする。なお、前項の規定により出願及 び権利等が発注者に帰属する著作物については、発注者はこれを自由に加除又は編集して利用することができ る。	1. ~2. 「昭 3. 著作権法に規定される著作物 発注者が、引渡しを受けた契約の目的物が著作権法(昭和45年法律第48号第2条第1項第1号)に規定される 著作物に該当する場合は、当該著作物の著作権は発注者に帰属するものとする。なお、前項の規定により出願及 び権利等が発注者に帰属する著作物については、発注者はこれを自由に加除又は編集して利用することができ る。	字句修正
1-1-54 保険の付保及び事故の補償	1-1-52 保険の付保及び事故の補償	
 ~4. [略] 補償 受注者は、雇用者等の業務に関して生じた負傷、疾病、死亡及びその他の事故に対して責任をもって適正な補償をしなければならない。 [略] 1-1-55 ~ 1-1-56 【略】 	 ~4. [略] 補償 受注者は、雇用者の業務に関して生じた負傷、疾病、死亡及びその他の事故に対して責任をもって適正な補償をしなければならない。 [略] 1-1-53 ~ 1-1-54 【略】 	字句修正
1-1-57 工事特性等への対応状況の報告	1-1-55 工事特性等への対応状況の報告	
1. 一般事項 受注者は、工事の施工に関し、工事特性を踏まえ特に必要と認めて実施した事項、創意工夫を図った事項、情報化施工を実施した事項、新技術を活用した事項、地球社会への貢献を図った事項その他契約図書に定められた事項以外の事項であって、特に報告すべきものがある場合には、別に定める様式に基づき作成し、工事完成時までにこれらを監督員に報告することが出来る。 2. ~4. [略]	1. 一般事項 受注者は、工事の施工に関し、工事特性を踏まえ特に必要と認めて実施した事項、創意工夫を図った事項、情報化施工を実施した事項、新技術を活用した事項、地域社会への貢献を図った事項その他契約図書に定められた事項以外の事項であって、工事完成時までにこれらを監督員に報告することが出来る。 2. ~4. [略]	
【移設】	1-1-56 週休二日の対応	移設
	受注者は、週休二日に取り組み、その実施が容を監督職員に報告しなければならない。	
1-1-58 ~ 1-1-60 【略】	1-1-57 ~ 1-1-59 【略】	

第2章 機器及び材料 第2章 機器及び材料 第2章 機器及び材料 第1節 通 則 2-1-1 一般事項 1. ~3. 岡 1. ~3. 岡

4. 海外の建設資材の品質証明

受注者は、海外で生産された建設資材のうち JIS マーク表示品以外の建設資材を用いる場合は、海外建設資材品質審査・証明事業実施機関が発行する海外建設資材品質審査証明書あるいは、日本国内の公的機関で実施した試験結果資料を監督員に提出しなければならない。

なお、次の表に示す海外で生産された建設資材を用いる場合は、海外建設資材品質審査証明書を材料の品質 を証明する資料とすることができる。

区分/細別	品目	対応JIS 規格(参考)
I セメント	[略]	[略]
Ⅱ 鋼材	[略]	[略]
Ⅲ瀝青材料	舗装用石油アスファルト	日本道路協会規定規格
	石油アスファルト乳剤	[略]
IV割ぐり石及び骨材	[略]	[略]

5. ~8. [略]

2-1-2 【略】

2-1-3 材 料

1. 工事材料

受注者は、工事に使用した材料の品質を証明する、試験成績表、性能環絲差果、ミルシート等の品質規格証明書を受注者の責任において整備、保管し、監督員または検査員の請求があった場合は速やかに提示しなければならない。なお、JIS 規格品のうちJIS マークが表示されている材料・製品等については、表示状態を示す写真等の提示をもって品質規格証明書の提示に代えることができる。

ただし、設計図書で提出を定められているものについては、監督員へ提出しなければならない。

2-1-4 見本・品質証明資料

受注者は、設計図書において監督員の減機若しくは確認及び承諾を受けて使用することを指定された工事材料について、見本又は品質を証明する資料を工事材料を使用するまでに監督員に提出し、確認を受けなければならない。

なお、JIS マーク表示品については、JIS マーク表示状態の確認とし見本又は品質を証明する資料の提出は省略できる。

4. 海外の建設資材の品質証明

受注者は、海外で生産された建設資材のうち JIS マーク表示品以外の建設資材を用いる場合は、海外建設資材品質審査・証明事業実施機関が発行する海外建設資材品質審査証明書あるいは、日本国内の公的機関で実施 した試験結果資料を監督員に提出しなければならない。

なお、次の表に示す海外で生産された建設資材を用いる場合は、海外建設資材品質審査証明書を材料の品質を 証明する資料とすることができる。

区分/細別	品目	対応 JIS 規格 (参考)
I セメント	[略]	[略]
Ⅱ 鋼材	[略]	[略]
Ⅲ瀝青材料	舗装用石油アスファルト	日本道路規定規格
	石油アスファルト乳剤	[略]
Ⅳ割ぐり石及び骨材	[略]	[略]

字句修正

5. ~8. [略]

2-1-2 【略】

2-1-3 材料

1. 工事材料

受注者は、工事に使用した材料の品質を証明する、試験成績表、性能環験主果、ミルシート等の品質規格証明書を受注者の責任において整備、保管し、監督員または検査員の請求があった場合は速やかに提示しなければならない。ただし、設計図書で提出を定められているものについては、監督員へ提出しなければならない。なお、JIS 規格品のうちJIS マーク表示が認証されJIS マーク表示がされている材料・製品等については、JIS マーク表示が聴を示す写真等確認資料の提示に替えることができる。

字句修正

2-1-4 見本又は資料の提出

受注者は、設計図書において監督員の記載発しくは確認及び承諾を受けて使用することを指定された工事材料について、見本又は品質を証明する資料を工事材料を使用するまでに監督員に提出し、確認を受けなければならな

なお、JIS マーク表示品については、JIS マーク表示状態の確認とし見本又は品質を証明する資料の提出は省略できる。

字句修正

改正後							現行						備考	
		第3	3章 共	ț通施工	- -					第3章	章			
第1節 通	i 則						第1節 道	通 則						
-1-1	【略】						3-1-1	【略】						
-1-2 梦	安全施工						3-1-2	安全施工						
. [略] 2. 受注者は旅 ればならな		場合、工事範	囲内の清掃等を行	行い工事の残朽	対が放置さ	れていないことを確認しなけ	1. [略] 2. 受注者は ければなら		5場合、工事範囲	囲内の清掃等を行	J <mark>な</mark> い工事の残	存物が放置る	されていないことを確認した	字句修正
第2節 [[略]						第2節	[略]						
第3節 溶	接						第3節 済	容 接						
-3-1 ~	- 3−3−	3【略】					3-3-1	~ 3−3-	-3【略】					
-3-4 核	オ片の組合せ	精度					3-3-4	材片の組合t	±精度					
3-3-7	溶接施工試圖	命の試験方法	上ひが 中土	***			±0 0 7	**********		والمناف المساورة والمراجع المراجع المر				
- •				•			表3ー3ー/	浴接肔丄試		と及び判定基準	•			
		表3-3-7	溶接施工調象の	・ 記載方法及び		加点甘油			表3-3-7	溶接施工試験の	・ 試験方法及び半		加中甘油	
試験の種類	試験項目			•	判定基準 試験方法	判定基準	太3-3-/ 試験の 種類	浴接爬上試 試集項目			•	沙定基準 記載分法	判定基準	
試験の		表3-3-7	溶接施工試験の	・)記載対方法及び 記載対方の		判定基準	試験の		表3-3-7	溶接施工: 講条の	・ 試験方法及び半 試験片の		判定基準	
試験の 種類 突合せ	試験項目	表3-3-7 溶接方法	溶接施工試験の 試験片の 計 上	・ D試験方法及び 試験片の 個数	調節方法		試験の 種類 突合せ	試験項目	表3-3-7 溶接方法	溶接施工試験の 試験片の 計 上	・ 試験方法及び半 試験片の 個 数	試験方法		
試験の種類 突合せ 溶鉄環 すみ肉	調象項目	表3-3-7 溶接方法 [略] [略]	溶接施工証環の 試験片の 計 上 [略]	・ 記載方法及び 記載計の 個数 [略]	試験方法	[冊各]	試験の種類 突合せ 溶接環境 すみ肉	記憶項目	表3-3-7 溶接方法	溶接施工調集の 調験片の 計 上 [略]	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	調象方法	[8名]	
試験の類 種類 突合せ 溶磁調 すみ肉 溶磁調 最高硬さ 試験	試験項目[明名][明名][明名][明名]	表3-3-7 溶接方法 [略] [略] [略]	溶接施工試場の	記載の方法及び 記載の方法及び 記載の 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	試験方法 [略] [略] [略] [略]	[BS] [BS] [BS]	試験の種類 突合せ溶接端 すみ肉溶接端 最高硬さ 試験	試験項目 [8名] [8名] [8名]	表3-3-7 溶接方法 [略] [略] [略]	溶接施工: 護	- : 講象方法及び半 : 講象片の 個 数 [略] 「略]	試験方法(略)(略)(略)(略)	[88] [88] [88]	
試験の類 種類 突合せ 溶鏡球 すみ肉 溶鏡球 最高硬さ	試験項目[略][略]	表3-3-7 溶接方法 [略] [略]	溶接施工試場の 試験片の 計 上 「略名」 「略名」	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	試験方法[略][略]	[略][略][略][略][略]降伏点は 235N/m㎡以上、引張金さは 400 ~ 550N/m㎡以上、伸びは 20%以上とする。ただし溶接	試験の種類 突合せ溶接端線 すみ肉溶接端線 最高硬さ	試験項目 [略] [略]	表3-3-7 溶接方法 [略] [略]	溶接施工試験の 試験片の 計 上 [略]	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	試験方法 [略] [略]	[略][略][略][略][略]降伏点は 235N/mm 以上、引張金さは 400 ~ 550N/mm 以上、伸びは 20%以上とする。ただし溶接	字句修正
試験の類 突合地線 空経期肉溶緩高減 高減 ス溶接調 スアンレ	試験項目(略)(略)(略)(略)(略)(不力ラッド綱を	表3-3-7 溶接方法 [略] [略] [略] [略]	溶接施工試場の	記載的 法及び 記載	記憶方法	(略)(略)(略)(略)(略)(略)(時)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)(おけん)	試験の類 突合せ 溶接線 すみ肉 溶接線 最高硬さ 記録 スタッボ (注) ステンル	試験項目 [略] [略] [略] [略] (略)	表3-3-7 溶接方法 [略] [略] [略] [略]	溶接施工: 講象の : 試験片の 計 上 (略) (略) (略) (略) (略) (略)	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	試験方法(略)(略)(略)(略)(略)	(略)(略)(略)(略)(略)(略)(時大点は 235N/mm[*])以上、引張金さは 400 ~ 550N/mm[*])以上、伸びは 20%以	0 0.5—
試種 類 突合地線 すみ 環接 できまり できまり できまり できまり できまり できまり できまり ストンシング できまり できまり ストンシング できまり できまり できまり かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう はいい はい	試験項目(略)(略)(略)(略)(略)(を)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)<td>表3-3-7 溶接方法 [略] [略] [略] [略]</td><td>溶接施工試場の</td><td> 記載的 法及び 記載</td><td> 記憶方法</td><td>[略] [略] [略] [略] [略] [略] [略] [略]</td><td>試験の類 突合せ 溶接端線 すみの 海野 できます できます できます できます できます できます できます できます</td><td>試験項目 [略] [略] [略] [中日] 「中日] 「中日]</td><td>表3-3-7 溶接方法 [略] [略] [略] [略]</td><td>溶接施工: 講象の : 試験片の 計 上 (略) (略) (略) (略) (略) (略)</td><td>・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</td><td>試験方法(略)(略)(略)(略)(略)</td><td>[略] [略] [略] [略] [略] [略] [略] [略]</td><td>0 0.5—</td>	表3-3-7 溶接方法 [略] [略] [略] [略]	溶接施工試場の	記載的 法及び 記載	記憶方法	[略] [略] [略] [略] [略] [略] [略] [略]	試験の類 突合せ 溶接端線 すみの 海野 できます できます できます できます できます できます できます できます	試験項目 [略] [略] [略] [中日] 「中日] 「中日]	表3-3-7 溶接方法 [略] [略] [略] [略]	溶接施工: 講象の : 試験片の 計 上 (略) (略) (略) (略) (略) (略)	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	試験方法(略)(略)(略)(略)(略)	[略] [略] [略] [略] [略] [略] [略] [略]	0 0.5—
試験の類 突合地線 空経期肉溶緩高減 高減 ス溶接調 スアンレ	試験項目(略)(略)(略)(略)(略)(を)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)<td>表3-3-7 溶接方法 「略] 「略] 「略] 「略] 「略] 「いる」 「いる」 「いる」 「いる」 「いる」 「いる」 「いる」 「いる」</td><td>溶接施工試験の 計 上 (略) (略) (略) (略) (略)</td><td>が 対験方法及び 対験片の 個数 「略] 「略] 「略] 「略] 「略]</td><td> 試験方法 「略] 「略] 「略] 「略] 「略] 「略] 「略]</td><td>[略] [略] [略] [略] [略] [略] [略] [略]</td><td>試験の類 突合せ 溶接線 すみ肉 溶接線 最高硬さ 記録 スタッボ (注) ステンル</td><td>試験項目 [略] [略] [略] [中日] 「中日] 「中日]</td><td>表3-3-7 溶接方法 [略] [略] [略] [略] であった。</td><td>溶接施工調験の 試験片の 計 上 「略] 「略] 「略] 「略] 「略]</td><td>・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</td><td>試験方法(略)(略)(略)(略)(略)(の34 (ステ</td><td>[略] [略] [略] [略] [略] [略] [略] [略]</td><td>0 0.5—</td>	表3-3-7 溶接方法 「略] 「略] 「略] 「略] 「略] 「いる」 「いる」 「いる」 「いる」 「いる」 「いる」 「いる」 「いる」	溶接施工試験の 計 上 (略) (略) (略) (略) (略)	が 対験方法及び 対験片の 個数 「略] 「略] 「略] 「略] 「略]	試験方法 「略] 「略] 「略] 「略] 「略] 「略] 「略]	[略] [略] [略] [略] [略] [略] [略] [略]	試験の類 突合せ 溶接線 すみ肉 溶接線 最高硬さ 記録 スタッボ (注) ステンル	試験項目 [略] [略] [略] [中日] 「中日] 「中日]	表3-3-7 溶接方法 [略] [略] [略] [略] であった。	溶接施工調験の 試験片の 計 上 「略] 「略] 「略] 「略] 「略]	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	試験方法(略)(略)(略)(略)(略)(の34 (ステ	[略] [略] [略] [略] [略] [略] [略] [略]	0 0.5—
試験の類型 突合せ溶 海 海 海 海 海 海 海 海 海 海 海 海 海 海 海 海 海 海 海	試験項目(略)(略)(略)(略)(を)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)<td>表3-3-7 溶接方法 [略] [略] [略] [略] [略] [を] [を] [を]</td><td>溶接施工試場の</td><td>が 対験方法及び 対験片の 個数 「略] 「略] 「略] 「略] 「略]</td><td> 試験方法 「略] 「略] 「略] 「略] 「略] 「略] 「略]</td><td>[略] [略] [略] [略] [略] [略] [略] [略]</td><td>試験の種類 質別 変合せ</td><td>記域項目 「略] 「略] 「略] 「略] 「略] 「の。 「の。 「の。 「の。 「の。 「の。 「の。 「の。 「の。 「の。</td><td>表3-3-7 溶接方法 [略] [略] [略] [略] (略] (略] (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を)</td><td>溶接施工: 講象の : 試験片の 計 上 (略) (略) (略) (略) (略) (略)</td><td>・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</td><td>試験方法(略)(略)(略)(略)(略)(の34 (ステ</td><td>[略] [略] [略] [略] [略] [略] [略] [略]</td><td>0 0.5—</td>	表3-3-7 溶接方法 [略] [略] [略] [略] [略] [を] [を] [を]	溶接施工試場の	が 対験方法及び 対験片の 個数 「略] 「略] 「略] 「略] 「略]	試験方法 「略] 「略] 「略] 「略] 「略] 「略] 「略]	[略] [略] [略] [略] [略] [略] [略] [略]	試験の種類 質別 変合せ	記域項目 「略] 「略] 「略] 「略] 「略] 「の。	表3-3-7 溶接方法 [略] [略] [略] [略] (略] (略] (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を)	溶接施工: 講象の : 試験片の 計 上 (略) (略) (略) (略) (略) (略)	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	試験方法(略)(略)(略)(略)(略)(の34 (ステ	[略] [略] [略] [略] [略] [略] [略] [略]	0 0.5—
試験の類型 突合せ溶 海 海 海 海 海 海 海 海 海 海 海 海 海 海 海 海 海 海 海	試験項目(略)(略)(略)(略)(略)(を)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)<td>表3-3-7 溶接方法 [略] [略] [略] [略] [略] [を] [を] [を]</td><td>溶接施工試験の 計 上 (略) (略) (略) (略) (略)</td><td>が 対験方法及び 対験片の 個数 「略] 「略] 「略] 「略] 「略]</td><td> 試験方法 「略] 「略] 「略] 「略] 「略] 「略] 「略]</td><td>[略] [略] [略] [略] [略] [略] [略] [略]</td><td>試験の類 突合せ 溶接端線 すみの 海野 できます できます できます できます できます できます できます できます</td><td>記域項目 「略] 「略] 「略] 「略] 「略] 「の。 「の。 「の。 「の。 「の。 「の。 「の。 「の。 「の。 「の。</td><td>表3-3-7 溶接方法 [略] [略] [略] [略] (略] (略] (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を)</td><td>溶接施工調験の 試験片の 計 上 「略] 「略] 「略] 「略] 「略]</td><td>・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</td><td>試験方法(略)(略)(略)(略)(略)(の34 (ステ</td><td>[略] [略] [略] [略] [略] [略] [略] [略]</td><td>0 0.5—</td>	表3-3-7 溶接方法 [略] [略] [略] [略] [略] [を] [を] [を]	溶接施工試験の 計 上 (略) (略) (略) (略) (略)	が 対験方法及び 対験片の 個数 「略] 「略] 「略] 「略] 「略]	試験方法 「略] 「略] 「略] 「略] 「略] 「略] 「略]	[略] [略] [略] [略] [略] [略] [略] [略]	試験の類 突合せ 溶接端線 すみの 海野 できます できます できます できます できます できます できます できます	記域項目 「略] 「略] 「略] 「略] 「略] 「の。	表3-3-7 溶接方法 [略] [略] [略] [略] (略] (略] (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を)	溶接施工調験の 試験片の 計 上 「略] 「略] 「略] 「略] 「略]	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	試験方法(略)(略)(略)(略)(略)(の34 (ステ	[略] [略] [略] [略] [略] [略] [略] [略]	0 0.5—

3-4-1 ~ 3-4-2 【略】

3-4-1 ~ 3-4-2【略】

改正後	現行	備考
3-4-3 高力ポルト接合	3-4-3 高力ポルト接合	
 ~10. [略] 11. 締付確認 (1) [略] (2) 受注者は、ボルトの締付確認を次のように行うものとする。 ①~2 [略] ③回転法による場合は、全数についてマーキングによる外観確認を行い、締付角度が次に規定する範囲内であることを確認するものとする。	1. ~10. [略] 11. 締付確認 (1) [略] (2) 受注者は、ポルトの締付確認を次のように行うものとする。 ①~2 [略] ③回転法による場合は、全数につきマーキングによる外観確認を行い、締付角度が次に規定する範囲内であることを確認するものとする。 回転が下足のものは、所定転角まで増し締付けを実施する。回転角が過大なものについては、新しいポルトセットに取替え締め直しする。 なお、回転法は、F8T、B8T のみに用いるものとする。 ・ボルト長が径の5倍以下の場合:1/3 回転(120°) ±30° ・ボルト長が径の5倍を超える場合:施工条件に一致した予備調集により目標回転角を決定する。 12、~14、 [略] 3-4-4 【略】	字句修正
第5節 [略]	第5節 [略]	
第6節 防 食	第6節 防 食	
3-6-1 【略】	3-6-1 【略】	
3-6-2 金属溶射 1. ~3. [昭] 4. 前処理 前処理は第3章3-5-2第1項の1種ケレン(SO 8501-1 Sa2 1/2 相当以上)とし溶射の種類及び等級に応じてプラスト材等の粒度を選定するものとする。 5. ~6. [昭] 3-6-3 【略】	3-6-2 金属溶射 1. ~3. [昭] 4. 前処理 前処理は第3章3-5-2第1項の1種ケレン(SO 8051-1 Sa2 1/2 相当以上)とし溶射の種類及び等級に応じてプラスト材等の粒度を選定するものとする。 5. ~6. [昭] 3-6-3 【略】	字句修正
第7節 ~ 第9節 [略]	第7節 ~ 第9節 [略]	
第10節 電気配線	第10 節 電気配線	
3-10-1 一般事項 1. ~4. [昭] 5. ビニル電線の色別 受注者は、ビニル電線を使用する場合、次の表 3-10-1 のとおり色別しなければならない。 ただし、既設電線の色別が次の表のとおりでない場合、監督員との協議の上、変更できるものとする。 また、色別困難な場合は、端子部においてビニルキャップ等で識別してもよいものとする。 なお、ビニル電線以外でもこの色別を準用するものとする。 [削る]	3-10-1 一般事項 1. ~4. [略] 5. ビニル電線の色別 受注者は、ビニル電線を使用する場合、次の表 3-10-1 のとおり色別しなければならない。 ただし、既設電線の色別が次の表のとおりでない場合、監督員との協議の上、変更できるものとする。 (1) 接地線は、緑色又は緑/黄色とする。 また、色別困難な場合は、端子部においてビニルキャップ等で識別してもよいものとする。 なお、ビニル電線以外でもこの色別を準用するものとする。	新規追記

		改正後			現行	備考
電気方式三相3線式		表3-10-1 ビニル 白 第2相(設置則)	職線の色別 黒 第2相(排接地)	青 第3相	表3-10-1 ビニル電線の色別 副約式 (明献) 交流	表の修正
三相 4 線式 単相 2 線式 単相 3 線式 直流 2 線式 (注) 1 接地線よ 緑 (注) 2 電線を分岐す	る場合は分岐前の色	色別による。	第2相第2相(明報)第2相	第3相 — — — 負極	##1 2 検式 ##1 3 検式 三相 3 検式 三相 4 検式 協成 2 検式 第1相 認識 非激性 第1相 中性相 第2相 第1相 短識 非激性 第2相 第3相 第1相 第2相 第3相 中性相 N P A 日 黒 赤 日 黒 赤 日 黒 青 古 青 赤 エ (2) 電線を分岐する場合は分岐前の色別による。ただし、分電盤 2 次側の単相 2 線式回路の電圧側の色は、赤、黒 いずれかの色に統一してもよい。	字句修正
ただし、分種 6. ~10. 「略」 3-10-2 ~ 3- 3-10-9 光ケース	-10-8【略】	線式回路の電圧側の色は	ま、赤、黒、いずれかび	色に統一してもよい。	6. ~10. 暦 3-10-2 ~ 3-10-8 【略】 3-10-9 光ケーブル	
1. 一般事項 (1) 布設される光ケ	rーブルが、他の電ブ 記分備令に準拠して行]		場合の離隔距離は、電	気設備 の 技術基準の解釈	1. 一般事項 (1) 布設される光ケーブルが、他の電力線と接近又は交差する場合の離隔距離は、電気設備技術基準の解釈及 び有線電気通信設備令に準拠して行うものとする。 (2) ~ (10) [略] 2. 光ケーブル地中配線 (1) ~ (2) [略]	字句修正
(3) ハンドホール内	祭し、キンク断線が	引き通し部ともに光ケー 主じないよう考慮するも		ることとし、災害時等の 定しないものとする。	(3) ハンドホール内では、接続部及び引き通し部ともに光ケーブルに必要長を確保することとし、災害時等のケーブル移動に際し、キンク断線が生じないよう考慮するものとする。 3. 光ケーブル屋内配線 (1) ~ (2) [略]	字句修正
る.				縛して固定するものとす 緊縛して固定するものと	(3) 水平ラック部に光ケーブルを布設する場合は、ラック 3mごとに緊縛して固定するものとする。 (4) 垂直ラック部に光ケーブルを布設する場合は、ラック 1.5mごとに緊縛して固定するものとする。	字句修正字句修正
する。 (5) [略] 4. [略] 5. 光ケーブル架空配線	AD.				(5) [略]4. [略]5. 光ケーブル架空面線	3 5,52
光ケーブルを架空間 る。 (1)~(4) [略] 6. [略] 7. 光ケーブルの測定及 光ケーブル布設後の (1) 光ケーブル布設 ① [略] ②伝送損失の測定 施工区間の伝	ではいます。	以下の項目について行う	ものとする。 かを測定する。	か、以下によるものとす	光ケーブルを架空配線する場合の架線の高さは、電気設備技術基準の解釈によるほか、以下によるものとする。 (1)~(4)[略] 6. [略] 7. 光ケーブルの測定及び環境 光ケーブル布設後の測定及び環境は、以下の項目について行うものとする。 (1)光ケーブル布設後の測定及び環境頃目 ① [略] ②伝送損失の測定 施工区間の伝送損失が、所定の規格値以下で施工されたかを測定する。	字句修正
る。 ③~④ [略]	=10、 1762 / 17 °,	ノーノル心と上女内 * 1919年		千里 にろのしこう	③~④ [略]	MINTEGL

改正後	現行	備者
(2) [略]	(2) [略]	
第11節 計測装置	第 11 節 計測装置	
3-11-1【略】	3-11-1 【略】	
3-11-2 流量計	3-11-2 流量計	
電磁流量計 電磁流量計 電磁流量計 電磁流量計には、設計図書に規定した場合を除き、次によるものとする。 (1) ~ (3) [略] (4) 検出器の上下流に必要な直管長はJISB 7554 (電磁流量計) によるものとし、設置条件を考慮するものとする。 3. 超音波流量計 超音波流量計は、設計図書に規定した場合を除き、次によるものとする。 (1) ~ (2) [略] (3) 超音波式流量計(管路用)の検出器の上下流に必要な直管長は JEMIS 032 (超音波流量計によった)によるものとし、設置条件を考慮し決定するものとする。 (4) 超音波式流量計(開渠用)の流量検出器の上下流に必要直線水路長が確保されるよう、設置条件決定するものとする。	3. 超音波流量計 超音波流量計は、設計図書に規定した場合を除き、次によるものとする。 (1)~(2) [略] (3) 超音波式流量計(管路用)の検出器の上下流に必要な直管長は JEMISO32 によるものとし、設置条件を 考慮し決定するものとする。	字句修正
第 12 節 ~ 第 13 節 [略]	第 12 節 ~ 第 13 節 [略]	
第4章 ~ 第12章 【略】	第4章 ~ 第12章 【略】	
第13章 水管理制御設備	第13章 水管理制御設備	
第1節通 則	第1節通 則	
13-1-1【略】	13-1-1 【略】	
13-1-2 一般事項	13-1-2 一般事項	
(1) [略] (2) 機器構造等 受注者は、水管理制御システムの盤内機器については、JECJEMJIS 等の関係規格に準ずるほか。 書に示した場合を除き欠によらなければならない。 ①設備の機器構成に基づき、単位機能ごとにできるだけブロック化して組立てるものとし、各機器は	書に示した場合を除き次によらなければならない。	字句修正
点検が容易な構造とするものとする。 ②~⑤ [略]	②~5 IM	

改正後	現行	備考
第2節 情報処理設備	第2節 情報処理設備	
3-2-1 ~ 13-2-8 [略]	13-2-1 ~ 13-2-8 [略]	
3ー2ー9 ソフトウェア	13-2-9 ソフトウェア	
ソフトウェア仕様一般 (1) [略] (2) ソフトウェアの機能及び動作を確認するため、次の試験が容易に行えるものとする。 ① [略] ②各処理機能単位での組合せ試験 ③ [略] (3) [略] 2. [略] 第3節 [略]	 ソフトウェア仕様一般 (1) [略] (2) ソフトウェアの機能及び動作を確認するため、次の試験が容易に行えるものとする。 ① [略] ②各処理機能単位での組合わせ試験 ③ [略] (3) [略] 2. [略] 第3節 [略]	字句修正
	NA AND PARTY	
第4節 情報伝送設備	第4節 情報伝送設備	
3-4-1 【略】	13-4-1【略】	削除
[削る]	13-4-2 網制御装置 本機器の機能は次のとおりとする。 1. テレメータ装置、テレメータ・テレコントロール装置のモデム(回線接続配に実装)をNTT等の加入電話回線に対して発信、着信の制御が可能なものとする。 2. AA 形緒制御装置(親局用)は、テレメータ装置、テレメータ・テレコントロール親局装置に実装し、複数の子局に対して自動発信、自動着信の機能を有するものとする。 3. AA 形緒制御装置(子局用)は、テレメータ装置、テレメータ・テレコントロール子局装置に実装し、親局に対して自動発信、自動着信の機能を有するものとする。 4. MA 形緒制御装置(子局用)は、テレメータ装置、テレメータ・テレコントロール・同装置に実装し、親局に対して手動発信、自動着信の機能を有するものとする。	
3-4-2 ~ 13-4-7 [略]	13-4-3 ~ 13-4-8 [略]	
3-4-8 スイッチングハブ	13-4-9 スイッチングハブ	
1. L2スイッチの機能は、データ処理装置、入出力処理装置、サーバ装置など、IP ネットワーク機器同士の通信において、データリンク層(OSI参照モデルの第2層)のデータでパケットの行き先を判断して転送を行うものとする。	೬ ಶನ್ನ	字包修正
2. L3スイッチの機能は、データ処理装置、入出力処理装置、サーバ装置など、IP ネットワーク機器同士の通信において、ネットワーク層(OSI参照モデルの第3層)のデータでパケットの行き先を判断して転送を行うものとする。	2. L3スイッチの機能は、データ処理装置、入出力処理装置、サーバ装置など、IP ネットワーク機器同士の通信において、ネットワーク層(OSI 参照モデルの第3層)のデータでパケットの行き先を判断して転送を行うものとする。	J June 1
3-4-9 ルータ	13-4-10 ルータ	
本機器の機能は、複数のネットワークを接続し相互にデータのやり取りをするもので、Ethernet 用ケーブル、光ケーブルなど様々なインタフェースを変換するものとする。	本機器の機能は、複数のネットワークを接続し相互にデータのかり取りをするもので、Ethernet 用ケーブル、ADSL 用ケーブル、光ケーブルなど様々なインタフェースを変換するものとする。	字句修正
3-4-10 【略】	13-4-11 【略】	

改正後	現行	備考
第5節 ~ 第6節 [略]	第5節 ~ 第6節 [略]	
第7節 CCTV 設備	第7節 CCTV 設備	
13-7-1 CCTV 装置 本機器の機能は次のとおりとする。 1. [昭] 2. 準動画監視は、現場の映像を動画に近い画像にて監視する方式で、画像は使用する回線等により数枚/秒から、ほとんど動画と変わらない程度まで可能とし、使用画像伝送回線は通信事業者回線(光回線)等とする。 第8節 電源設備	13-7-1 CCTV 装置 本機器の機能は次のとおりとする。 1. 曜日 2. 準動画監視は、現場の映像を動画に近い画像にて監視する方式で、画像は使用する回線等により数枚/秒から、ほとんど動画と変わらない程度まで可能とし、使用画像伝送回線はNTT回線(INS64)等とする。 第8節 電源設備	字句修正
13-8-1 無 停電電 源装置(汎用品)	13-8-1 UPS 電源装置(汎用品)	字包修正
13-8-2 [略]	13-8-2【略】	
13-8-3 直流電源装置 [DC12 <mark>V</mark> • DC24V]	13-8-3 直流電源装置 [DC12 <mark>∨ • DC24∨</mark>]	字句修正
13-8-4 【略】	13-8-4 【略】	
第9節 計測設備 <mark>等</mark>	第9節 計測設備	字句修正
13-9-1 【略】	13-9-1 【略】	
第 10 節 [略]	第10節 [略]	

改正後	現行	備考
施設機械工事完成図書等作成要領	施設機械工事完成図書等作成要領	
第1条 [略]	第1条 [略]	
第2条 完成図書等の内容	第2条 完成図書等の内容	
1. [略]	1. [略]	
2. 施工図	2. 施工図	
(1)施工図とは、設計図書を踏まえて作成される図面のうち、当該設備の維持、修繕、改修、更新等のために	(1)施工図とは、設計図書を踏まえて作成される図面のうち、当該設備の維持修繕、改修、更新等のために必要します。 これによるでは、 これによるでは、 これによるでは、 これによるでは、 これによるでは、 これによることでは、 これによることではまることではないによることでは、 これによることでは、 これによ	
必要なすべての部材の位置・組合せ、機器・部品等の形状、配管・配線等個々の機材、施工方法について、 受注者独自の施工技術に基づき、現地条件に対応した設備、機器の構造、接続・支持方法、納まり、制御シ	要なすべての部材の位置・組合せ、機器・部品等の形状、配管・配線等個々の機材、施工方法について、受 注者独自の施工技術に基づき、現地条件に対応した設備、機器の構造、接続・支持方法、納まり、制御シス	
ステム等の詳細および電子計算機で検討した経緯等を示す図面として作成されたものをいう。	テム等の詳細および電子計算機で検討した経緯等を示す図面として作成されたものをいう。	
なお、受注者が、工事の種類等により、ここで規定する内容によりかたいと判断した場合は、監督員の承	なお、受注者が、工事の種類等により、ここで規定する内容によりがたいと判断した場合は、監督員の承	
諾を得て、内容を追加もしくは省略することができる。 ①~④ [略]	諾を得て、内容を追加もしくは省略することができる。 ①~④ [略]	
(2)~(5) [略]	(2)~(5) [略]	
(6) 発注者は、受注者の評諾のない限り完成図書を第三者に開示してはならない。ただし、以下の場合につ	(6) 完成図書は、設備の維持管理を目的としたものであり、公開できない部分を含んでいる。設備の改修時	字句修正及び新規追請
いては第三者に開示できるものとする。	に、第三者に使用させることができない	
①改造、修繕において、施工に携わった受主者が存続しなくなった場合で継承者がいない場合、施工に必要になる図書等を表われない。		
となる図書等を該当改造、修繕等の受注者が使用する場合。 ②運転、点検、軽微な修繕等において必要となる図書等を当該業務等の受注者が使用する場合。ただし、運		
転、点検、軽微な修繕等に必要となる図書等は、発注者と協議の上、完成図書において分冊とし、その旨表		
ಸ ್ತಾರವ್ಯ		
3. 工事写真 エキロネルは、************************************	3. 工事写真	
工事写真とは、施設機械工事等施工管理基準 撮影記録による施工管理により作成されたものをいう。 [削る]	工事写真とは、施設機械工事等施工管理基準 撮影記録による施工管理により作成されたものをいう。 なお、受注者が、工事の種類等により、ここで規定する内容によりかたいと判断した場合は、監督員の承諾を	削除
	得て、内容を追加もしくは省略することができる。	
	(1)着手前及辽宁成写真	
	(2) 施工状况写真	
	(3)使用材料写真 (4)品質管理写真	
	(5) 出来形管理写真	
	(6) 災害 (損傷) 写真	
4. [昭]	4. [略]	
第3条 [略]	第3条 [略]	
第4条 完成図書の作成	第4条 完成図書の作成	
1. 完成図書	1. 完成図書	
(1) ~ (4) [BB]	(1)~(4) [略] (5) 於工文學工程第193	
(5) 施工管理記録 施工管理記録は、工程管理、出来形管理・品質管理に環象な績書含むに関したもので、特別仕様書、図面	(5) 施工管理記録 施工管理記録は、工程管理、出来形管理・品質管理(試験成績書含む)に関したもので下記の管理結果が記	字句修正
等の契約図書で定められた事項及び施設機械工事等施工管理基準の定めによる。	録されたものとする。	
[削る]	①材料管理	削除
	3機器管理 9据付寸法管理 4寸法管理 0現場。容接管理	
	⑤仮組立管理 ①現場全装管理	

改正後	現行	備考
95条 [略]	⑥工場全装管理 ②現場機能管理 第5条 「吹	
おりま 「哈」	第5条 [略]	
長1~表2 [略]	表1~表2 [略]	
『手続きの参考』 [略]	『手続きの参考』 [略]	